

1 年 団

学年主任： 中井 功

(1) 今年度の目標

- ①高校生としての自覚と責任を持ち、基本的な生活習慣を確立する。
 - ・自律的な生活を心がけ、社会的なマナーを身につけ、良識ある高校生であることを目指す。
- ②授業を中心に据えた自主的学習習慣をつける。
 - ・家庭学習時間（最低3時間）を確保し、計画性のある学習ができるようにする。
- ③目標を高く持ち、充実感と達成感の得られる高校生活にする。
 - ・学級活動、部活動、学校行事、生徒会活動等に積極的に参加し、協調性や社会性を養う。

(2) 主な取り組みの計画

- ①学校ベースの生活習慣、学習習慣を確立させる。
 - ・入学当初のオリエンテーションで、丸亀高校の歴史、望まれる生徒象、教育課程、校則などを伝える。
 - ・集会、ホームルームなどの時間に、集団の中の自分を自覚させ、団体行動における責任ある行動・マナーを習慣化させる。
 - ・面接で、生活時間調査等で自分の生活を振り返らせ、目標を高く持ち、時間を有効に使わせる工夫・意識を持たせる。
- ②講演会や大学訪問を通して、自分の将来像を考えさせる。
 - ・総合学習の時間の各講演会や、職業研究・学部学科調べ等を充実させ、進路意識を明確にさせる。
 - ・大学のオープンキャンパスや大学訪問を通して、実際に大学生活を経験させる。
- ③様々なことに興味を持たせ、積極的に学校行事や部活動に参加させる。
 - ・部活動に積極的に参加させ、身体を鍛えるとともに、仲間との連帯意識を育てる。
 - ・運動会や津島杯、斯文祭などを通して、クラスの一体感を盛り上げさせる。

(3) 成 果

- ・TPでの様々な活動を通して進路意識を高めることができた。
- ・目標を高く持たせることは例年よりうまくできた。
- ・全体的に頑張っている生徒が多い。
- ・自主的学習習慣（塾依存からの脱却）を持たせるため、「予習の重要性」を団として共有できた。実際生徒が実行しているかは不明だが…
- ・学年団の合い言葉
「とにかく構文101(英語)」「ガイドやチャートを使わず予習(国語)」「4Stepは直前日が3回目(数学)」を掲げ、機会あるごとに意識させた。
- ・生徒指導面で手がかかる生徒はほとんど見られないが、幼稚な印象をうける。

(4) 課題と次年度以降の改善策

- ・とにかく行事が多い。
 - 大学訪問を1大学へ ○職業講演会を4名にし、時間を延長。残りを感想文
 - 中学訪問の精選（年度のはじめ頃中学校へお知らせする）…
- ・年明けの面接が十分にできない。（クラス編成のための情報が取れない）
- ・2極化している生徒に対しての指導法を考える。